

研究名：肺アスペルギルス症に対する胸郭成形術後の呼吸機能について

研究責任者： 呼吸器外科 職名 医師 氏名 四元 拓真

研究の背景・意義・目的：

胸郭成形後は晩年に呼吸機能が低下することが言われていますが、客観的なデータとして示されたものは少ないのが現状です。当科にて肺アスペルギルス症に対する肺切除術に併施した胸郭成形術後の呼吸機能を急性期と慢性期に分け、その変遷を調査検討して今後の手術を主とする診療に役立てることが可能な情報を得ることを目的としています。

研究の方法：

・対象となる患者さん

肺アスペルギルス症と診断され、手術適応と判断され当科に紹介となり、2013年1月1日から2022年12月31日までに該当手術を受けられた方。

・研究期間 院長の研究実施に関する決定通知発行後から西暦2024年3月31日

・利用する検体、カルテ情報

カルテ情報 診断名、生年月日、性別、既往歴、身体所見、検査結果（赤血球、白血球、抗アスペルギルス抗体、胸部単純レントゲン検査、胸部CT検査、心臓超音波検査、呼吸機能検査）、術式、手術記載、病理組織診断結果

・検体や情報の管理

情報は、当院のみで利用します。

研究組織：

この研究は、当院のみで実施されます。

個人情報の取扱い：

検体や情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。検体や情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

研究計画書等の公表：

この研究に関連した各種データについて知りたい場合は、担当医師を通じてその情報の開示を求めることができます。また、ご希望があれば、研究計画書や研究の方法に関する資料の閲覧や、ご提供することも可能です。ただし、他の患者さんの個人情報や研究の知的財産等など、情報の種類によっては開示できないものがあります。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、ご自身の検体やカルテ情報を当該研究に利用することをご了解できない場合などは、研究対象とはしませんので、研究責任者までお申し出ください。その場合でも皆様に不利益が生じることはございませんのでご安心ください。

<問い合わせ先> 独立行政法人国立病院機構 東京病院 呼吸器外科 氏名：四元 拓真
住所 東京都清瀬市竹丘3-1-1 電話：042-491-2111（代）

独立行政法人国立病院機構 東京病院 院長